

【高等学校用】

令和5年度学校評価 結果・学校関係者評価

達成度（評価）	
A	十分達成できている
B	おおむね達成できている
C	やや不十分である
D	不十分である

学校名	佐賀県立伊万里実業高等学校(商C)[定時制]
1 前年度 評価結果の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全職員が「OneTeam」となり学校教育目標の実現に組織的に取り組み、専門高校の特徴を活かした活動等を行い地域から必要とされる学校を目指す。</li> <li>・魅力ある学校づくりと地域への情報発信に重点をおいて取り組んできた。これからも地域に根ざした学校づくりを行い「生徒が行きたい」、「保護者が行かせたい」、「地域から必要とされる」そして「職員が勤務したい学校」を創っていく。</li> <li>・ICT活用教育を推進し、わかる授業の徹底と専門高校としての教育内容の充実を図る。</li> </ul>
2 学校教育目標	心身ともに健康で逞しく、「至誠」と「礼節」を重んじ、専門的知識・技術を生かし社会に貢献し愛される人材を育成する。
3 本年度の重点目標	<p>”Dynamic Challenge”をスローガンとして、心身ともに健全な人材の育成に努めるとともに学習意欲を高めさせ、地域に貢献し愛される生徒の育成を目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○心身ともに健康な生徒と安全安心な学校づくり</li> <li>○学習意欲を高め、確かな学力習得(修得)と進路実現を図る</li> <li>○Society5.0や6次産業化などの次世代を見据え、地域に貢献できる人材の育成を図る</li> </ul>

4 重点取組内容・成果指標				中間評価		5 最終評価				
(1)共通評価項目										主な担当者
重点取組			具体的取組	中間評価		最終評価		学校関係者評価		
評価項目	取組内容	成果指標(数値目標)		進捗度(評価)	進捗状況と見通し	達成度(評価)	実施結果	評価	意見や提言	
●学力の向上	○基礎学力の定着	○基礎学力テストで50%以上正答した生徒が80%以上 ○出席率95%以上	・授業実施率95%以上 ・基礎的な内容に時間をかけ、配慮の必要な生徒への声かけを積極的に行う	B	・大雨による休校はあったが、授業は問題なく実施されている。 ・その都度気になる生徒には声かけが行われている。	A	・授業実施率96.9%(1/25現在) ・出席率91.5% 特定の生徒欠席が目立った。 ・30日以上欠席は、2名(うち1名退学)。 ・保健室登校はなし。	A	・職員の声かけで欠席者数が減少しており、今後も継続して欲しい。 ・専門高校として特徴のある技能・科目の検討をしてみようか。	教務
	○専門教科指導の充実	○少人数授業のメリットを生かした個別指導の機会を増やす ○各種検定試験の合格率90%以上	・授業ごとに習熟度を確認し、チームティーチングを活用した指導を行う ・単元ごとに小テスト等を行い、理解度を確認させる	A	・チームティーチングの指導により生徒の理解を向上させるサポートができています。 ・各種検定試験に向け問題なく取り組んでいる。	B	・チームティーチングの指導により生徒の理解を向上させるサポートができた。 ・各種検定試験にむけ概ね合格ラインに到達することができた。	B	・検定試験への挑戦、そして取得により生徒に自信が生まれているので、更なる意欲向上に期待したい。 ・少人数授業の特性が発揮され、個々の能力向上がなされている。	商業
●心の教育	●生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○講演を受けて「ためになった」という趣旨の文言が90%以上	・人権・同和教育、情報モラル教育の講演会の実施 ・HRや授業の様々な場面で生命の尊さ、他者への思いやりの大切さを話す	A	・講演等を行うことにより、人権意識が高まったという評価が90%以上であった。 ・不適切な生徒に対しては、声かけを行いその都度対応している。	A	・人権・同和教育に関する事案や情報モラルに関する事案の発生はなかった。 ・他者を傷つけるような発言をする生徒は見受けられなかった。	A	・講演会等の座学以外にも他の評価項目からも直接・間接的に醸成されている。(ボランティア活動、部活動や学校活動の係等)	教務
	●いじめの早期発見、早期対応体制の充実	○「いじめの問題に関する点検項目」に対し、95%以上の職員が全て「おおむねできている」「できている」の回答	・「いじめアンケート」を毎月実施、「生活アンケート」を前後期各1回実施 ・生徒に関する情報交換・協議会を毎月実施	B	・「計画通りアンケート調査を実施した、現状問題なし。今後も日常生活を通して、生徒の実態把握に努めたい。 ・情報交換会実施により情報共有ができています。	A	・年間計画通り5回の調査を実施した。今後も日常生活を基本に据えて、生徒の実態把握に努めたい。 ・いじめの問題に関する点検項目で「できている」「おおむねできている」で100%となった。 ・生徒とのコミュニケーションを密に図ることができた。	A	・いじめをしないことが大前提であるため、生徒に意識させることは大事だが、教師も発見する目(力)を磨いてほしい。	生徒指導
	◎★ふるさと佐賀(伊万里)への思いを醸成するための教育活動	◎「佐賀県(伊万里)に誇りや愛着を感じる」と回答した生徒が75%以上 ★郷土の人材を活用した講演会等を年間1回以上	・「佐賀語り」等を活用した授業に取り組む ・郷土の人材を活用した講演会を実施する	B	・「佐賀語り」を利用した授業を行い、地元佐賀に対する知識を深めることができた。 ・講演会については、後期(年明け)に実施予定である。	A	・「佐賀語り」を利用した授業を行い、地元佐賀に対する知識を深めることができた。 ・市の歴史民俗資料館館長を講師に、伊万里の焼き物についての講演をしていただき、郷土への思いを深めることができた。	A	・授業や講演会等だけでなく日頃の教育活動(ボランティア活動等)から故郷の良さをアピールし、故郷を愛する心を醸成してほしい。	地歴公民科
	○生徒主体で生徒会活動に関する行事の運営をさせる。	○生徒会役員で全校体育やクリスマス会等の行事を運営させ、役員満足度80%以上	・全校体育やクリスマス会を実施する ・定時制・通信制体育大会の練習で人数が不足している競技については、教職員も共に練習に参加し士気を高める	B	・定通体育大会では、全職員の積極的な協力の下で実施、全国大会には生徒2名が出場した。 ・新規を含めて各種行事を実施し、役員問わず全生徒の積極的な活動参加であった。	A	・当初予定していた生徒会行事はすべて盛会に実施できた。(実施率100%) ・実施項目は、「校内生活体験発表」「市内探訪ブラ散歩」「ボランティア清掃活動」「新春カルタ会」「全校スポーツ」「生徒会通信全3号」「学校文集」「予備会」	A	・例年以上に多くの生徒会行事が開催されているので、今後も充実した生徒会活動を行ってほしい。 ・生徒主体の活動が行われているのは、評価に値する。	生徒会
●健康・体づくり	●望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成	●「健康に食事は大切である」と考える生徒95%以上 ○給食の喫食率80%以上	・喫食調査を毎日実施し、生徒の健康状態を併せて把握する ・食生活に関する面談を実施する ・「給食だより」を毎月発行する ・食育アンケートを実施(9月)し、結果をもとに講話を行う(1月)	B	・前期の面談は全員実施し、生徒の実態把握と朝食の大切さや望ましい食習慣など指導した。 ・朝食喫食率は42%(4月)と低く、朝食の役割等給食室に掲示し、食への意識向上を図っている。 ・ホームページに毎月献立表を掲載している。 ・4月～8月の給食平均喫食率は79%であった。	B	・「健康に食事は大切である」と考える生徒は、100%で全員が大切であると答えた。 ・1月までの喫食率は78%であった。(特定の遅刻や欠席が多いため) ・食の大切さや望ましい食習慣を身につけるために講話を行い、自分の食生活を見直すよい機会になった。	B	・食事の栄養バランスなど栄養面等にも関心をもち、意識を高めてほしい。 ・給食だより、ホームページ等での給食の紹介や給食室内の掲示等、多くの面で食の大切さを指導されている。	給食
	○健康管理能力の向上	○食事前やトイレ後の手洗いの実践率90%以上 ○検診結果で治療を要する生徒の治療受診率80%以上	・登校時に検温、健康観察を行い、日々の健康状態を把握する ・「保健だより」で健康についての情報を提供する	B	・食事前やトイレ後の手洗いは概ね実践できている。 ・検診後の再検査で受診している生徒は30%で、家庭の協力が乏しい状態にある。	B	・歯磨き指導に重点を置き、生徒が歯の健康に関する意識を高めることができた。 ・検診後の再検査を受けない生徒がいた。家庭の協力を得ることを次年度も課題としていく。	B	・治療受診がなかなか進まないのは、家庭の事情等もあるが、まずは健康第一なので、粘り強く生徒及び保護者に呼びかけ、意識向上をはかってほしい。	保健
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する	・学校閉庁日の設定 ・出退勤管理システムや定期的な面談等による日常チェック ・ペーパーレス化の推進	B	・夏季休業中に3日間、学校閉庁日を設定し、教職員が休暇を取得しやすい環境を整備した。 ・全職員の時間外勤務時間は、平均16時間35分であった。	A	・全職員の時間外在校等時間は、平均14時間21分であった。(1月末日現在) ・学校閉庁日を3日間、夏季休業中に設定した。	A	・業務の質を落とさずになお一層効果的な学校運営が可能となるように期待している。 ・職員の時間外勤務時間を見て仕事の分担を適切に行ってほしい。	教頭
(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目										主な担当者
重点取組			具体的取組	中間評価		最終評価		学校関係者評価		
評価項目	重点取組内容	成果指標(数値目標)		進捗度(評価)	進捗状況と見通し	達成度(評価)	実施結果	評価	意見や提言	
○自己実現の充実	○進路指導の充実 ○キャリア教育の充実 ○希望進路の実現	○在校生の就業率を80%以上をめざす ○卒業予定者の進路決定率を100%にする	・アルバイト等の就労体験を通し社会性を身に付け、進路意識を高める ・日頃の教育活動を通して進路意識の啓発を行う ・全日制およびハローワークと連携し進路情報を生徒に提供する	B	・在校生の就業率は9月現在で83.3%となっており、数値目標を上回っている。 ・3年生や4年生に対する卒業後の進路意識の向上については、各先生方の協力で教科の時間等を利用し、啓発を行ってもらっている。 ・卒業生の進路については、現在就職試験に向けて頑張っている最中である。	A	・在校生の就業率は2月現在で91.7%となっており、数値目標を大幅に上回っている。 ・3年生や4年生に対する卒業後の進路意識の向上については、各先生方の協力で教科の時間等を利用し、啓発を行ってもらっている。 ・卒業生の進路については、9月中旬の早い段階から行動することができ、9月中には内定が確定し、進路決定率100%を実現した。	A	・希望進路100%は、高い数値目標であり、また、第一希望の企業へ全員が合格することができたことは、素晴らしい。 ・アルバイトと学業の両立は厳しいので、先生や保護者等から生徒への後押しを今後もお願いしたい。	進路指導
★自分の学校を中学生に勧めることができる生徒及び教職員の割合	★定時制ホームページによる情報発信の充実 ★授業改善による教員の資質向上	★自分の学校を中学生に勧めることができる生徒の割合78%以上、教職員の割合85%以上とする	★最低週1回はホームページを更新する ★生徒による授業評価3.4以上(4段階)	B	・学校行事の写真等を更新している。 ・生徒による授業評価は4段階で3.2であった。分かりやすく興味関心を持たせる授業の工夫が期待される。	A	・学校行事、保健だより、献立表、生徒会通信月毎の行事予定を掲載している。 ・授業評価は全教科平均で4段階中3.7で、個別の理解度に応じた授業展開がなされている。	A	・定時制のホームページがよく更新されていて、写真等も豊富に掲載されている。 ・これからは生徒たちにとって「わかる授業」を追及して欲しい。	教務 教頭
5 総合評価・ 次年度への展望	<p>・定時制ホームページによる情報発信など新たな取り組みやPR活動を講じたが十分な結果をだすことができなかったため、次年度も継続し学校魅力の発信、通学しやすい環境の整備、現代のニーズに合ったカリキュラム編成など生徒確保への取り組みを行い、「生徒が行きたい」、「保護者が行かせたい」、「地域から必要とされる」そして「職員が勤務したい学校」を創り、地域に根ざした学校づくりを引き続き行う。</p> <p>・全職員が「OneTeam」となり学校教育目標の実現に組織的に取り組むことができた。また、4年次生は、進路100%を達成し卒業することができた。</p>									

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育 ★…唯一無二の誇り高き学校づくり